Victor

取扱説明書 / 保証書

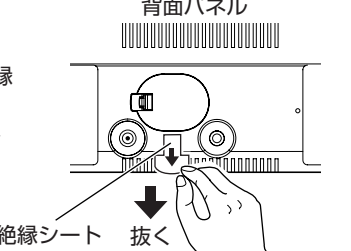
ポータブルオーディオシステム

型名 RA-P50-W/RA-P50-B

お買い上げありがとうございます。

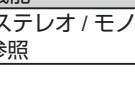
製品のサポート情報、イベント情報などの提供サービスなどをご利用いただけます。
http://www.victor.co.jp/reg/

⚠ご使用の前に

この説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

目 次

1. はじめに

● **付属品**

ご使用前に付属品をご確認ください。

- AC アダプター
- リチウム電池 CR2025
 （工場出荷時に本体の背面パネルに装着されています）

● **本体の準備**

最初にご使用になるときは、本体背面を上に向けて、絶縁シートを抜いてください。
→ 初期設定時刻が表示されます。

LVT2019-017A
0609KMMCREBET

©2009 Victor Company of Japan, Limited

● **本機を設置するときは**

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

● **本体の準備**

◆ **本体用の電池の入れ方**

電池カバーを開け、左右で合計6本の単 3 乾電池（別売り）を入れます。極性 (+ と -) を正しく合わせてください。
- 電池を入れなくてもＡＣアダプターを接続すれば動作します。

2. 表示と基本操作

押す	機能
SNOOZE/LIGHT ボタン	• 電源が切れているとき、ディスプレイが 5 秒間点灯します。 • スヌーズ機能。アラームが鳴っているとき、アラーム音を一時停止します。(→「アラーム音を止める」P3 参照) • バックライトを消すことができます。消灯 (または点灯) するまで押しつづけます。

押す	機能
FM MODE	FM ラジオのときはステレオ / モノラルを切り換えます。P2 参照
►►I I◄◄ ►/II	P2 参照

押す	機能
SOURCE	押すごとに音源 (ソース) を切り換えます。 iPod → FM → AUDIO IN

押す	機能
電源ボタン	電源が入ります。電源を切るときはもう一度押します。

押す	機能
SLEEP ボタン	電源が切れるまでの時間を設定します。P3 参照

押す	機能
TUNER PRESET - +	FM ラジオの登録してある放送局 (P01 ～ P20) を選びます。

押す	機能
MUTING	一時的に音を消します。もう一度押すと元に戻ります。

押す	機能
VOLUME - +	音量レベルを 00 から最大 20 まで調節できます。

・音量レベルが 15 以上で電源を切ると、次に電源を入れたとき自動で 14 になります。

押す	機能
SURROUND/TIMER CANCEL ボタン	• 広がりと奥行き感のある音で音楽が楽しめます。（モノラルでは効果がありません）

● **ディスプレイ**

音量調節をするとき	00 ～ 20
FM ラジオを選んでいるとき	76.00 ～ 108.00 MHz (周波数) / P01 ～ P20 (チャンネル)
音源に iPod を選び、アラームを TIMER PLAY にしたとき	iPod (点滅)
音源に FM ラジオを選び、アラームを TIMER PLAY にしたとき	FM (点滅)
電池残量が少なくなったとき	–––
AUDIO IN でアラームを TIMER PLAY にしたとき	Err

◆ **アイコン説明**

ALARM 1 ALARM 2	消灯 : 現在時刻 / 点灯 : アラーム時刻
(アラームアイコン)	消灯 : アラームオフ / 点灯 : アラームオン / 点滅 :「TIMER PLAY」動作中
Z^Z	スヌーズ中 (アラームを一時停止している間)、点滅します。

SLEEP	スリープ中、点灯します。
SUR	サラウンドオンのとき、点灯します。
ST MONO	FM ステレオ放送を受信したとき点灯します。 モノラルに切り換えたとき点灯します。(→「5.FM ラジオを聞く」)
:	点滅 : 現在時刻表示 / 点灯 : その他の時計表示
(ミューティングアイコン)	ミューティング中 (一時的に音を消している間)、点灯します。

3. 時刻の設定

日付・時刻を合わせる

- 電源が入っていても、切れていても設定できます。

1 SET ボタンを長押しします。⇒年の表示が点滅します。
2 点滅中の各項目を DOWN / UP ボタンで設定します。
3 SET ボタンを押します。
 - SET ボタンを押すと、以下の順で点滅する項目が切り換わります。

 年 → 月 → 日 →12 時間表示 / 24 時間表示 → 時 → 分 → 時刻表示

 - 分から時刻表示に切り換わったとき、時刻が確定します。
 - 設定し直すときは、手順 1 からやり直します。
 - TIMER CANCEL ボタンを押すと、前の項目に戻ります。

4. iPod を聞く / 充電する

iPod を本機にセットする

1 iPod 付属の Dock アダプターを本機にはめ込みます。
 お使いの iPod に Dock アダプターが添付されていない場合は、Apple 社から購入してください。
 詳しくは Apple 社の Web サイトをご覧ください。
 <http://www.apple.com/jp/>

2 iPod を本機の iPod 用コネクター端子に接続します。
 - お買い上げ時はコネクター端子にターミナルカバーが付いています。ご使用時にははずしてください。
 - iPod を接続しないときは必ずコネクター端子にターミナルカバーをしておいてください。
 ほこりなどが入り故障の原因になります。
 - iPod を接続したりはずすときは電源を切ってください。
 - iPod は奥までしっかりと挿してください。

● **iPod 対応表**

iPod touch（第 2 世代）8GB/16GB/32GB
iPod touch 8GB/16GB/32GB
iPhone 3G 4GB/8GB/16GB
iPod classic 80GB/120GB/160GB
iPod video（第 5 世代）30GB/60GB/80GB
iPod photo（第 4 世代）20GB/30GB/40GB/60GB
iPod nano（第 4 世代）8GB/16GB
iPod nano（第 3 世代）4GB/8GB
iPod nano（第 2 世代）2GB/4GB/8GB
iPod nano 1GB/2GB/4GB
iPod（第 4 世代）20GB/40GB
iPod mini（第 2 世代）4GB/6GB
iPod mini 4GB/6GB

iPod を聞く SOURCE ►/II I◄◄ / ►►I

1 本機に iPod をセットします。
2 本機の電源を入れます。
3 SOURCE ボタンで「iPod」を選びます。
 - 音源 (ソース) に iPod を選ぶと自動で再生が始まります。

押す	機能
►/II	再生 / 一時停止 長押しした場合、iPod はスリープモードになります。
►►I	曲送り / 早送り (長押し)
I◄◄	曲戻し、再生中の曲の頭出し / 早戻し (長押し)

iPod を充電する

本機にセットした iPod は、本機の電源が入っている間、充電することができます。
- AC アダプターを接続してください。本機の供給電源が電池の場合は iPod を充電できません。
- どの音源 (ソース) を選んでいても充電されます。
- 充電時間については iPod の取扱説明書をお読みください。

● **iPod に関する注意事項**
- 本機は iPod の音声のみ再生できます。
 iPod をビデオ機能にすると、音声を聴くことはできますが、映像の出力はできません。
- 本機を移動するときは、iPod を本機からはずしておいてください。落としたり、本体のコネクタ部分が故障する原因になります。
- 本体のコネクタ部分に直接さわったり、物を当てたりしなでください。破損の原因になります。
- iPod のソフトウェアのバージョンが古いときは正常に動作しない場合があります。そのようなときは、iPod のソフトウェアのバージョンアップを行ってください。
 <http://www.apple.com/jp/>
- iPod は米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- iPhone は Apple Inc. の商標です。
- 本機の故障または、不測の事態などにより再生において利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。
 大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。
- iPod のイコライザーを設定していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむ可能性があります。iPod のイコライザー設定はオフにすることをお勧めします。iPod の操作については iPod の取扱説明書をお読みください。
- 本機の電源を入れなくても、本機に iPod を接続しただけで iPod 側の電源が入ることがあります。
- “Made for IPod” とは、iPod 専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしているデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。
- “Works with iPhone” とは、iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。
- アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

5. FM ラジオを聞く

押す	機能
FM MODE	FM 放送のステレオ / モノラルを切り換えます。 • FM ステレオ放送の雑音が多いときは、モノラル受信に切り換えると雑音が軽減されます。ステレオ受信に戻すときは、もう一度押します。 • ステレオを選んでも、FM ステレオ放送されていないときはモノラル音声になります。
►/II	チャンネル表示 / 周波数表示を切り換えます。 • チャンネル表示は約 10 秒たつと周波数表示に自動で切り換わります。そのあと、時刻表示に戻ります。 FM ST 80.00 MHz 周波数表示 / FM ST P01 チャンネル表示
TUNER PRESET - +	チャンネル P01 ～ P20 を切り換えます。
►►I I◄◄	周波数を上げ / 下げします。 • 長押しした場合、オート選局し放送局を受信すると止まります。選局中にもう一度押すと止まります。

FM ラジオを聞く SOURCE I◄◄ / ►►I

本体背面のワイヤーアンテナを伸ばしてお使いください。

1 本機の電源を入れます。
2 SOURCE ボタンで「FM」を選びます。
3 ►►I / I◄◄ ボタンで周波数を選びます。
 - FM ステレオ放送の雑音が多いときは、FM MODE ボタンを押し、モノラル受信に切り換えると雑音が軽減されます。ステレオ受信に戻すときは、もう一度押します。
 - ►►I / I◄◄ ボタンを長押しした場合、オート選局し放送局を受信すると止まります。選局中にもう一度押すと止まります。

放送局をチャンネル登録する (プリセット) SOURCE I◄◄ / ►►I ►/II

1 SOURCE ボタンで「FM」を選びます。
2 TUNER PRESET - + ボタンで、登録したいチャンネル番号 (P01 ～ P20) を選びます。
3 登録したいチャンネル表示中に ►/II ボタンを長押します。⇒チャンネル番号が点滅します。

4 チャンネル番号が点滅中に ►►I / I◄◄ ボタンで、登録したい放送局の周波数 (76.00 MHz ～ 108.00 MHz) を選びます。
5 ►/II ボタンを押します。⇒選んだ周波数が登録されます。

- 登録を確認するには、TUNER PRESET - + ボタンで、登録したチャンネル番号 (P01 ～ P20) を選び、►/II ボタンで周波数表示に切り換えます。

6 プリセットしたあとは、TUNER PRESET - + ボタンで選曲できます。

6. タイマーの設定

アラーム（タイマー）を設定する (ALARM-BUZZER)

OFF BUZZER TIMER PLAY　SET DOWN UP

1　SET ボタンを押して、「ALARM1」または「ALARM2」を選びます。⇒選んだアイコンが点灯します。
2　SET ボタンを長押しします。⇒「ON」または「OFF」、および が点滅します。
3　DOWN / UP ボタンで「ON」を選び、SET ボタンを押します。⇒ が点灯し、時の表示が点滅します。
- 「OFF」を選ぶと、 が消灯しアラーム設定が無効になります。現在時刻の表示に戻ります。
- 「ALARM1」と「ALARM2」を使い分けるときは、それぞれの ON / OFF を設定してください。

4　点滅中の各項目を DOWN / UP ボタンで設定します。
- SET ボタンを押すと、以下の順で点滅する項目が切り換わります。

時 → 分 →TIMER PLAY 時間 (10 ～ 30)→ 時刻表示

- 「TIMER PLAY」時間の設定にかかわらず、ブザー音は 3 分間鳴ります。

5　ALARM スイッチを「BUZZER」に切り換えます。
- ディスプレイにセットされた が点灯します。
- 設定した時刻を確認するには、SET ボタンを押しアラーム時刻に表示を切り換えます。
- 「TIMER PLAY」時間の設定にかかわらず、ブザー音は 3 分間鳴ります。
- 「ALARM1」と「ALARM2」の時刻が異なる場合、設定した時刻が後のアラームが鳴り始めると、先のアラームは止まります。

iPod や FM ラジオをアラーム音(タイマー)に設定する(ALARM-TIMER PLAY)

1　アラーム時刻を設定します。
(→「アラームを設定する (ALARM-BUZZER)」手順 1 ～ 4)

時 → 分 →TIMER PLAY 時間 (10 ～ 30)→ 時刻表示

- 「TIMER PLAY 時間 (10 ～ 30)」はタイマーの開始から終了までの時間です。10 ～ 30 分の間で設定できます。

2　本機の電源を入れます。
3　iPod または FM ラジオが聞こえることを確認します。
- 適切な音量を設定します。

4　ALARM スイッチを「TIMER PLAY」に切り換えます。
セットされた が点灯し、ディスプレイに選んだ音源 (ソース) が点滅します。

ご注意
- 音源 (ソース) に「AUDIO IN」を選ぶことはできません。「iPod」または「FM」を選んでください。
- 本機の電源を切ると、TIMER PLAY は動作しません。

アラーム音を止める

SNOOZE /LIGHT　OFF BUZZER TIMER PLAY

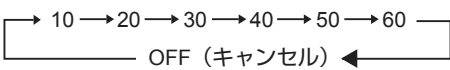
◆ アラームを一時停止する (スヌーズ機能)
「ALARM-BUZZER」、「ALARM-TIMER PLAY」どちらに設定した場合でも、アラームが鳴っているときに、SNOOZE/LIGHT ボタンを押します。アラームは一時的に止まりますが、５分後に再び鳴りはじめます。10 回まで繰り返すことができます。

◆ アラームを止める (BUZZER/ TIMER PLAY)
ALARM スイッチを「OFF」に切り換えます。

一定時間後、本体の電源スイッチを切る（スリープタイマー）

SLEEP

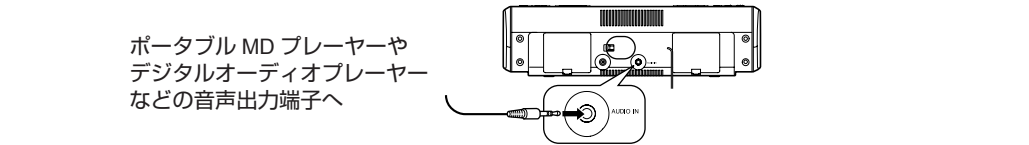
1　SLEEP ボタンを繰り返して押し、分単位で時間を設定します。

→ 10 → 20 → 30 → 40 → 50 → 60
OFF（キャンセル）←

2　設定時間が消えるまで待ちます。
- 一度 SLEEP ボタンを押して、電源が切れるまでの時間を確認します。
SLEEP ボタンを繰り返し押すと、電源が切れるまでの時間を変更することができます。
- スリープタイマーを使用して本体の電源を切ると、SNOOZE/LIGHT ボタン以外は、操作できません。電源スイッチを押して一旦電源を切った上で電源を入れなおすと、通常どおりに本体を操作することができます。

ご注意
- スリープタイマーと「ALARM-TIMER PLAY」は同時に設定できません。「TIMER PLAY」に設定するとスリープタイマーは解除されます。
- スリープタイマーと「ALARM-BUZZER」は同時に設定することができます。

7. 外部機器を聞く

外部機器を接続する

本機背面の AUDIO IN ジャックにステレオミニプラグコード (別売り) で外部機器を接続します。
- 外部機器を接続したりはずすときは電源を切ってください。

外部機器を聞く

SOURCE

1　本機の電源を入れます。
2　SOURCE ボタンで「AUDIO IN」を選びます。
3　外部機器を再生します。
4　音量を調節します。

8. 仕様

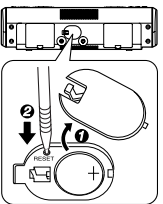
型名	RA-P50-W/RA-P50-B	
形式	ポータブルオーディオシステム	
アンプ	実用最大出力	4 W + 4 W 1 kHz 10% THD, 6 Ω
	AUDIO IN 入力	入力感度　250 mV / 入力インピーダンス　47 k Ω
FM チューナー	受信周波数	76.00 MHz - 108.00 MHz
	プリセット局数	20
スピーカー	5 cm コーンスピーカー × 2	
入力端子	DC IN (AC アダプター入力)	
	AUDIO IN (ミニジャック)	
iPod コネクター	出力：DC5 V ⎓ 500 mA	
電源	DC 9 V ⎓ 1.5 A (外部電源入力)	
	DC 9 V ⎓ (単 3 形 × 6)	
	DC 3 V ⎓ (CR2025 時計用)	
消費電力	13 W / 0.5W (待機時) / 6 W (待機時、iPod 接続時)	
AC アダプター	入力 : AC 100-240 V, 50/60 Hz, 0.5A	
	出力 : DC 9 V ⎓ 1.5 A	
電池持続時間	約 2 時間（JEITA, iPod 再生時 , 単 3 形アルカリ電池使用時）	
最大外形寸法	幅 310 mm ×高さ 88 mm ×奥行 93 mm（突起部を含まず）	
質量	0.8 kg (乾電池を含まず)	
付属品	付属品参照	

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- JEITA は、電子情報技術産業協会の規格による数値です。

9. 故障かな？と思ったら

ビクターホームページ (http://www.victor.co.jp/) から最新の製品 Q&A 情報をご覧いただけます。
サービス窓口にご相談になる前に、下記の項目をチェックしてみてください。

こんなときは	次の点を確認してください
電源がはいらない。	• AC アダプターは正しく接続されていますか。正しく接続してください。 • 電池が消耗していませんか。新品の電池に交換してください。
動作しなくなった。	RESET ボタンを押してから、AC アダプターをはずし接続し直してください*。また、電池で使用している場合は単３電池を一度抜き、入れ直してください。
iPod がセットできない。	• お使いの iPod に合った Dock アダプターを使用していますか。 • Dock アダプターが本機に正しく装着されていますか。正しく装着しなおしてください。
iPod が操作できない。	• iPod と本機のコネクター端子が正しく接続されていますか。 • iPod が正しく動作しますか。本機に接続せずに、iPod の動作を確認してみてください。
iPod が充電できない。	• iPod と本機のコネクター端子が正しく接続されていますか。 • AC アダプターを接続していますか。AC アダプターのプラグは奥まで挿し込まれていますか。電池では充電できません。
FM ラジオのノイズがひどい。	ワイヤーアンテナを伸ばしてありますか。
音量レベルが 8 より上がらない。	電池が消耗しています。新品の電池に交換するか、AC アダプターを使用してください。

＊ 本体のリセット
動作や表示の問題が解決しないときは、本体をリセットしてみてください。
本体の電源を入れた状態で本体背面にある RESET ボタンを押し、AC アダプターをはずし接続し直してください。また、電池で使用している場合は単３電池を一度抜き、入れ直してください。
- RESET ボタンを押すときは、時計用のリチウム電池が入っている状態で行ってください。
- RESET ボタンを押すときは、先の細いもの（ピンやまっすぐに伸ばしたペーパークリップなど）を利用してください。

10. 安全上のご注意

▼ 絵表示について
この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**　この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠ **注意**　この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

▼ 絵表示の説明

注意をうながす記号			行為を指示する記号		
一般的注意	感電	手を挟まれないよう注意	一般的指示	電源プラグを抜く	
行為を禁止する記号					
禁止	分解禁止	水場での使用禁止	接触禁止	ぬれ手禁止	水ぬれ禁止

⚠ 警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる。
- 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない、カバーを外さない。
火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

風呂場やシャワー室では使用しない。
本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の上に火のついたものを置かない。
火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。

⚠ 警告

本機の中に物を入れない。
通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外で使用しない。
表示された電源電圧以外では、火災･感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。
This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

電源コードを傷つけない。
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。
- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。
電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。
感電の原因となります。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。
頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。
電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

置き場所に注意する。
次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。
電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く。
接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。
- 電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。
- 機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

はじめから音量を上げすぎない。
突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

3 年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。
内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。
一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

本機の上に重いものを置かない。
テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する。
電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（+）とマイナス（－）を間違えない
- 電池のプラス（+）とマイナス（－）をショートさせない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。
万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。使い終わった電池は、自治体の指示に従って廃棄してください。

リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。
他の金属片等とそのまま一緒に廃棄すると、ショートして発火や破裂の原因となることがあります。

欧州連合のリサイクルマークです。

11. 保証書とアフターサービス

保 証 書　持込修理

型名	RA-P50-W RA-P50-B	製造番号
お客様 お名前	ふりがな　　様	
お客様 ご住所	〒□□□ □□□□　電話 (　　) －	
お買い上げ年月日	年　月　日	保証期間　お買い上げ日から　本体　1 年間
お買い上げ店	住所・店名・電話	

保証書
所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げの日より 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間
製造打ち切り後６年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は
修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」（別紙）をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

使用上のご注意

本機の置き場所について
故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。
- 極端に寒い所・振動の激しい所
- 他のアンプ、チューナーのそば
- 磁気を発生する所

ご注意
本機の使用環境温度は、5℃～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

データのお取り扱いについて
- 本機の故障または不測の事態などにより、再生において利用の機会を逸したために発生した損害などの補償については、ご容赦ください。
- 本機と接続機器間での再生のときに、データの消失または破損が生じた場合の補償はご容赦ください。

本体の清掃
パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意
シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ステレオを聞くときのエチケット
ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

音のエチケット

◆ 時計用の電池の交換
極性 (+ と -) を正しく合わせてください。

ツメを押して開きます。　リチウム電池 CR2025　+ 側の端子　電池の側面　矢印の順にカバーを閉めます。

時計用電池の交換時期（目安）について
時計用電池が消耗すると、本機のディスプレイ表示が薄くなる、またはアラーム設定をした時刻以外にブザー音が鳴ることがあります。このようなときは、新しい電池と交換してください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	0120－2828－17 携帯電話・PHS・FAX などからのご利用は 電話（045）450-8950 FAX（045）450-2275 〒 221- 8528　横浜市神奈川区守屋町 3 － 12

お客様の個人情報のお取り扱いについて
ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。
- お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
〒 221-8528　横浜市神奈川区守屋町 3-12